



# 豊穡の地“みやづ”「日本三景天橋立」と 共に生きる、未来を拓くプロジェクト

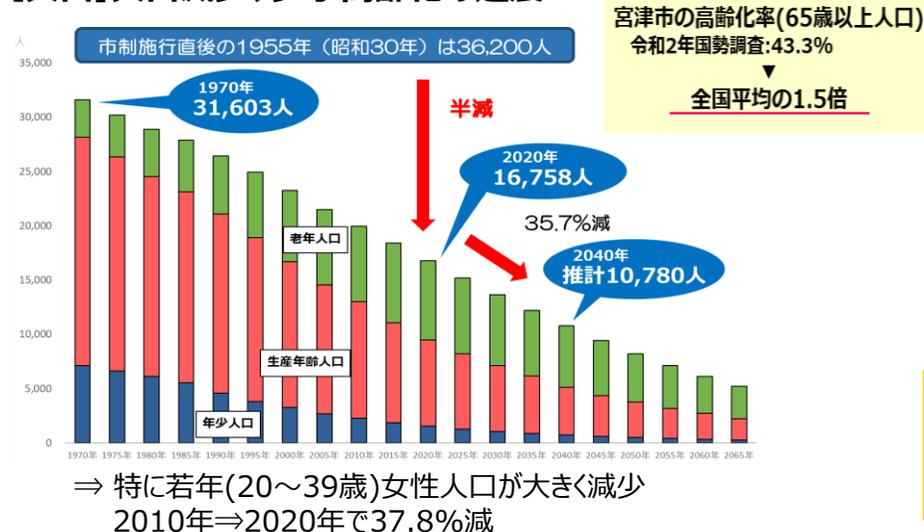


令和5年4月21日  
京都府宮津市長 城崎 雅文



# 現状と課題

## 【人口】人口減少、少子高齢化の進展



## 【産業】人口減少、高齢化により域内の経済活動が縮小

○ 1994年から2017年の23年間で、

小売業年間販売額	→ 36.3%減
製造品出荷額	→ 57.4%減
卸売業年間販売額	→ 73.3%減

※人口は、32.8%減（1995年～2020年）

人口減少以上に、域内の経済活動が減少！

**本市の強み**

- ・「日本三景天橋立」を有し、全国から年間約300万人が訪れる全国有数の観光都市
- ・観光関連事業が、「市外からの資金獲得」に大きく寄与

## 経済・社会・環境の好循環による「選ばれる魅力あるまちづくり」へ

本市の強みである観光産業の効果を、経済や地域に波及させるとともに、資源循環の取組も進めることで、観光客と地域が一体となった、持続可能なまちづくりの仕組みを構築する。

これまでの取組	<b>経済</b>	観光サービスの高付加価値化、国際認証GSTCの取得に向けた環境に配慮した観光地づくり
	<b>社会</b>	関係人口づくりの拠点「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」の設置
	<b>環境</b>	全国に先駆けた「プラスチック等資源循環の促進等に関する条例」の制定

## 更なる展開へ（本モデル事業の展開による効果）

- 観光産業を核とし、その効果を地域全体に波及させ、**地域経済力を向上！**
- 観光を関係人口づくりにつなげ、**地域の担い手確保や移住定住を推進！**
- 先駆的なSDGs観光を実現し、**地域との共生や世界から選ばれる観光地へ！**



# 自治体SDGsモデル事業の概要

## 豊穡の地“みやづ”「日本三景天橋立」と共に生きる、未来を拓くプロジェクト

- ◎ SDGsな観光地づくりや観光を核とした地域産業の活性化
- ◎ 若者の移住・定住の促進や関係人口の拡大による人口減少の抑制
- ◎ 資源循環促進や自然環境保全活動による環境にやさしいまちづくり

⇒ 市民との共創による持続可能なまちづくりの推進

経済	社会	環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪・関西万博を見据えたインバウンド等の誘客と観光SDGsの推進</li> <li>○ ブルーオアシスエリア拡大による観光産業を核とした地域経済の活性化</li> <li>○ 一次製品の域内調達率を高める美食のまちづくり</li> <li>○ 再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり</li> </ul> <p>▼</p> <p>観光産業の活性化と地域内の経済循環</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住・定住・二地域居住の促進と関係人口の創出・拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口創出の拠点「クロスワークセンター」の活用と移住コンシェルジュの設置</li> <li>・ 京都府移住特区の全市域指定</li> <li>・ 都市部人材の活用による地域課題解決への取組</li> </ul> </li> <li>○ みやづSDGsプラットフォームの充実</li> </ul> <p>▼</p> <p>移住・定住環境の整備と人財の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民・事業者・観光客等と進めるプラスチック等資源循環の促進</li> <li>○ 世界遺産登録を目指す「日本三景天橋立」と歴史・文化資産、自然環境の保全・継承           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・地元企業と連携した海岸清掃活動</li> <li>・ 「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなぐ条例」に基づく取組</li> </ul> </li> </ul> <p>▼</p> <p>循環型社会への転換と豊かな自然環境や歴史・文化・景観の保全・継承</p>

# 三側面をつなぐ統合的取組



## 全体計画

日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ  
～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～

## SDGsモデル事業

豊穡の地“みやづ”「日本三景天橋立」と共に生きる  
未来を拓くプロジェクト

## 三側面をつなぐ 統合的取組

選ばれる観光地づくりで未来を拓く  
「サステナブルツーリズム」プロジェクト

市民・事業者・団体等の多様なステークホルダーの連携により、豊かな自然環境や歴史・文化の保全、観光資源の磨き上げに取り組むとともに、魅力ある観光コンテンツの造成とあわせてサステナブルツーリズムを推進し、域内経済の好循環、雇用の拡大、関係人口の増加へとつないでいく。

- ① インバウンド等の誘客と観光SDGsの推進
- ② ブルーオアシスエリア拡大による地域経済の活性化
- ③ プラスチック等資源循環の促進
- ④ みやづSDGsプラットフォームの充実



# ① インバウンド等の誘客と観光SDGsの推進

GSTC TOP100の取得を目指し、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に基づき、事業者・地域一体となったインバウンド需要にも対応したサステナブルツーリズムを推進し、世界から選ばれる持続可能な観光地域を実現する。

～おもてなしのしくみをつなぐ～  
生産性・収益力の向上

- **宮津観光DX基盤の構築**
  - ・宿泊予約システムとデータ連携するDX基盤を構築し、デジタルマーケティングを展開し、稼げる観光地づくりを推進
- **高付加価値化に資する施設改修**
  - ・観光施設の高付加価値化に向けた改修・整備
- **インバウンド受入体制の強化**
  - ・多言語対応AIチャットbotの導入

～美しい自然を未来につなぐ～  
観光地としての環境保全

- **GSTC認証の取得に向けた行動のルールづくり**
  - ・指標に基づき行動するステークホルダーの協力体制の構築
- **観光事業者による環境率先活動**
  - ・食品ロス削減、脱プラ行動、ごみの資源化等
- **観光旅行者への環境行動等を促す環境教育**
  - ・プラスチック等資源循環条例に基づく観光客への環境行動協力要請

## 世界に選ばれるSDGsな観光地域の実現

- **美食のまちづくり推進事業**
  - ・京都調理師専門学校と連携した「看板メニュー開発」や地域の食材や伝統料理等を活用した食の魅力向上等を推進
- **一次製品の域内流通促進事業**
  - ・観光事業者等へ市内産の一次製品等の流通を担う地域商社の設立や観光船等活用した貨客混載の実施

～観光と地域の産業をつなぐ～  
地域経済への還元

- **地域密着型観光コンテンツ充実事業**
  - ・地域資源を活用した体験型旅行商品の造成・販売
- **持続可能なマネジメントを支える人づくり事業**
  - ・地域観光人材の育成やネットワーク化の支援
- **稼げるツアーガイドの育成事業**
  - ・JSTS-Dに基づくツアーガイドの研修、認定制度の導入

～訪れる人と地域をつなぐ～  
地域の魅力発信

# ② ブルーオアシスエリア拡大による地域経済の活性化



## 官民の多様なステークホルダー

田井ヨットハーバー運営事業者、  
ホテル・オーベルジュ事業者、  
青少年海洋センター(青少年教育施設)、  
天橋立観光協会、宮津商工会議所、  
海の京都DMO、宮津海陸運輸(株)、  
丹後海陸交通(株)、地域住民・高校生、  
京都府港湾局、宮津市

参画

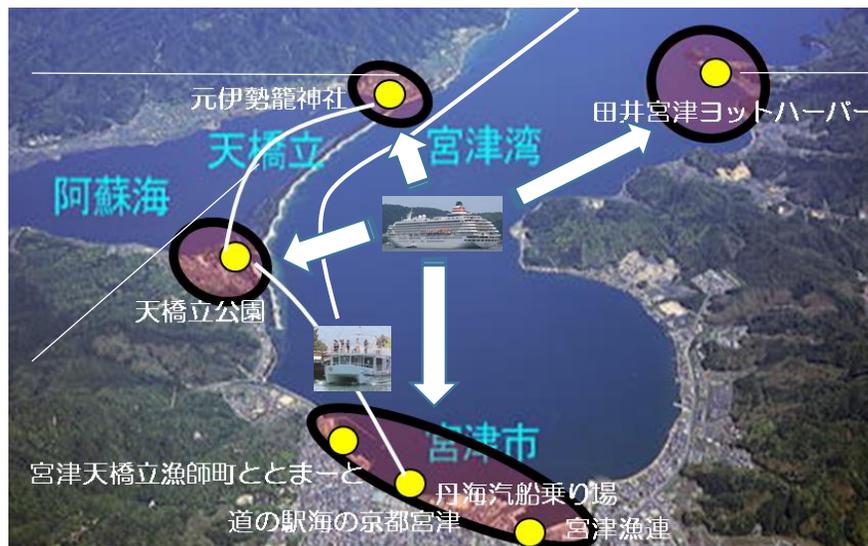
田井臨海エリアにぎわい  
づくり実行委員会

MIYAZU  
ブルーオアシス  
拡大会議  
(R5.3.29設置)

宮津湾全体の利活用に向けた調査・検討  
ハード・ソフト両面の施策を展開

## ブルーオアシス(みなとオアシスエリア)の拡大イメージ

桟橋等係留施設の  
復活検討



田井臨海エリアの  
にぎわいづくり



体験型観光コンテンツ等の造成



オアシス  
エリアの  
拡大へ

## MIYAZUブルーオアシス拡大による持続的な人流創出・経済の活性化へ

- 【経済】 宮津湾を活かした人流創出による地域経済の活性化 (例: クルーズ船入港促進)
- 【社会】 宮津の海を活かしたマリンスポーツの振興 (例: ヨットの全国大会誘致)
- 【環境】 美しく豊かな宮津の海を未来へつなぐ海洋環境保全 (例: 海ごみ0の推進)

# ③ 市民・事業者・観光客等と進めるプラスチック等資源循環の促進



## 再資源化に適した質の高い分別回収等による循環型社会の構築

## 食品ロスの削減と食品残渣の資源化

## 観光事業者による環境率先活動

### 観光客へも質の高いごみ分別を要請

### 3R+Renewable

#### 観光者等

#### ◆天橋立駅等へのIotごみ箱の設置



天橋立駅



導入



Iotごみ箱

#### 市民

- ◆環境分野で先進的  
事業を行う企業と  
連携した環境教育・  
学習とリユース事業  
の展開
- ◆学校等新たな資源  
ごみ拠点の整備

#### 事業者

- ◆食品ロス対策の推進
- ◆事業用コンポストの  
導入を支援し、ごみの  
減量化を推進
- ◆企業、農業者等と連携  
した食品残渣の堆肥化  
システムの構築  
→有機農業の拡大・推進

#### 観光者等

#### 事業者

- ◆市内大型ホテルと連携し、  
観光客に環境行動を促す  
実証事業（アメニティの  
脱プラ化、プラごみの分別化、  
宿泊客への啓発等）  
→他の観光事業者へ横展開
- ◆旅館組合による  
SDGs行動宣言と  
環境率先行動の推進

## 条例のアクションプランに反映

- R5.1月 プラスチック等資源  
循環の促進等に関する条例施行
- R.5.10月 条例のアクション  
プランを策定し、循環型社会や  
脱炭素社会の構築に向けた  
具体的行動を本格化

### <目指す姿>

- 300万人の観光客等へ環境配慮  
行動を促す取組の展開
- 環境と観光の共生による環境に  
やさしい観光地としてのブランド化

### [その他「環境」の取組]

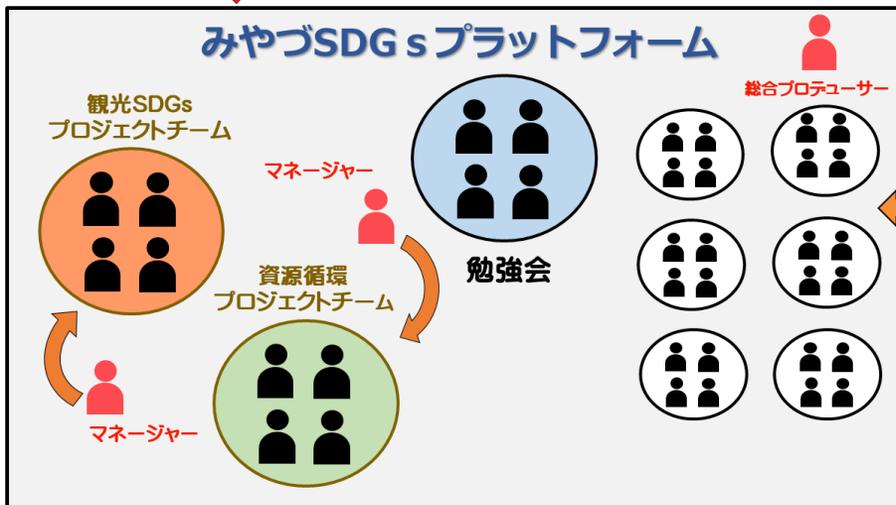
- 天橋立の世界遺産登録活動に  
よる歴史・文化資産、自然環境の  
保全・継承の仕組みづくり
- 市民、地元企業等と連携した  
海岸清掃活動
- 「美しく豊かな阿蘇海をつくり  
未来につなぐ条例」に基づく  
阿蘇海水質浄化等の取組



# ④ みやづSDGsプラットフォームの充実

宮津市SDGs推進本部

地域の様々な課題解決に向けたオール宮津の体制



**外部人材の活用**  
 外部人材の専門知見を活用、プラットフォーム全体のコーディネートや個別プロジェクトチームのマネジメントの支援を行う。

**SDGs宣言**  
 団体・企業等が実施(予定)のSDGsの取組を宣言する制度を創設  
 →段階的登録、認証制度を構築

**ポータルサイト制作**  
 セミナー情報、メンバーのSDGsの取組・関連イベント等の掲載  
 ⇒メンバー相互の情報共有、情報発信、機運醸成

**SDGs啓発資料制作**

**プロジェクトチームのアウトプット(例)**

- 環境にやさしいSDGsな観光地づくり
- ごみの資源化推進
- 持続的な人流創出
- 持続的な農林水産業
- 各地域の移住・定住受入れ環境 等

**Slackの活用**  
 多様なステークホルダーがデジタル上で意見交換や交流を行う。

**オール宮津の体制**で、地域経済の活性化や地域課題の解決を図り、「共に創る みんなが活躍する 豊かなまちみやづ」を実現



# 経済、社会、環境の各側面の相乗効果



# 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



## 経済

### 唯一の成長分野 観光産業の活性化

- 観光サービスの高付加価値化による顧客満足度の向上
- インバウンドの受入環境整備による観光入込客数の増加
- ブルーオアシスエリア拡大による人流の創出（宿泊・滞在時間の増→観光消費額拡大）
- 一次製品の域内調達率を高める美食のまちづくり

新たな観光産業・雇用創出に向けた  
市内外の投資、賃金の引上げなど

地域全体の経済力の向上

## 社会

### 都市部から新たな人の流れの創出

- 関係人口拡大の拠点「クロスワークセンター」を中心に多様な人財・企業の交流促進と移住コンシェルジュの設置
- 京都府移住特区の全市域指定をはじめとする総合的な移住・定住対策

関係人口、移住・定住人口拡大

人口減少の抑制と地域力の維持

## 環境

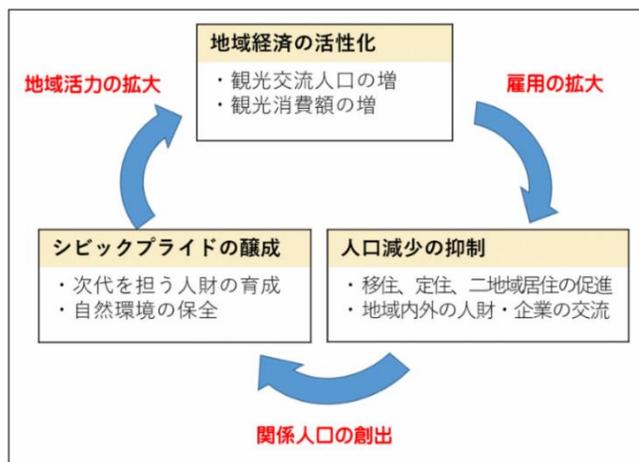
### 自然環境、歴史・文化の保全・継承

- 世界遺産登録を目指す「日本三景天橋立」と歴史・文化資産、自然環境の保全・継承
- プラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づく、ごみの減量化・資源化

市民・観光客による環境率先行動  
シビックプライドの醸成

SDGsな観光地域  
環境先進都市としてのブランド化

## 人口減少→地域経済・雇用の縮小のスパイラルからプラスのスパイラルへ



### 将来的な自走に向けた取組

- ◎ みやづSDGsプラットフォームへ市民、市内外の企業や団体等の様々なステークホルダーの参画を求め、オール宮津の体制で地域課題を解決
- ◎ 企業版ふるさと納税制度や地方創生推進交付金をはじめ国・府等の支援制度を活用（総合的な移住定住対策については本年度設置した基金を原資に事業展開）

⇒初期の取組には一定の支援を必要とするが、経済・社会・環境の三側面の取組の好循環により、プラスのスパイラルへ変容、自走につなげる。